

# 宿根草の紹介

「宿根草」とは冬に地上部が枯れても、地下茎や根が地中に残り、翌年また葉を広げてくる草花です。一年草と違い、毎年植え替える必要がありません。

本州では越冬できても、北海道では越冬できないものもあるので、植栽するときはよく確認しましょう。

※ここで紹介している植物の一部について、他の園芸書では分類の仕方が異なる場合がありますが、この冊子では宿根草として扱います。

## ラミウム



- 草丈：20~50cm
- 花の色：ピンク、白
- 開花期：5~6月
- ふやし方：株分け、挿し芽
- 特徴：寒さ・乾燥に強く、日陰でも育つグランドカバープランツ（地被植物）です。

## ビンカ・ミノール



- 草丈：10cm程度
- 花の色：紫
- 開花期：5~6月
- ふやし方：挿し木
- 特徴：日陰でも育てることができ、耐寒性も強いグランドカバープランツです。

## ギボウシ



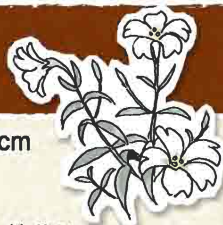
- 草丈：20~100cm
- 花の色：青、紫、白、ピンク
- 開花期：6~8月
- ふやし方：株分け
- 特徴：日陰、半日陰、湿った土壌を好む植物。多くの園芸品種があり大きさや葉色など異なる特徴の品種を組み合わせると楽しめます。

## ホリホック



- 草丈：100~300cm
- 花の色：いろいろな色があります
- 開花期：7~9月
- ふやし方：種まき、株分け
- 特徴：性質が丈夫な植物で、発芽した後はさほど手間をかけずに開花まで育ちます。

## セラスチウム



- 草丈：15~25cm
- 花の色：白
- 開花期：5~6月
- ふやし方：種まき、株分け
- 特徴：種まきでも簡単に育てられ、株もよくふえて広がります。白い小さな花が密に咲き、シルバーリーフ（白っぽいグレイ）の葉も楽しめます。

## ジャーマンアイリス



- 草丈：70cm~
- 花の色：いろいろな色があります
- 開花期：5月下旬~6月
- ふやし方：株分け
- 特徴：北海道の気候に適しており育てやすいですが3~4年に1回は株分けをし、植え替えましょう。

## ラベンダー



- 草丈：30~100cm
- 花の色：紫、白、ピンク
- 開花期：7月
- ふやし方：挿し木、種まき
- 特徴：日なたで水はけのよい、やや乾燥気味の土に植えます。高温多湿で枯れることも多いので、花後は株の上部3分の1程度を刈り込みましょう。

## ガウラ



- 草丈：60~120cm
- 花の色：ピンク、白
- 開花期：7月上旬~10月中旬
- ふやし方：挿し木、種まき
- 特徴：日当たりを好む植物。生育は強健で開花期間が長く、矮性種（草丈の低い品種）もあります。



# よくある質問について

**Q.** 玄関フードやバルコニーが暖かいので、そこで育てても大丈夫ですか？

**A.** 暖かい場所に置いているのは良いことですが、気温が30℃以上になると苗の生長が悪くなるので注意が必要です。また、夜は冷え込みますので暖かい室内に戻してあげてください。（★14ページを参照）

**Q.** 上から水をあげないのはどうしてですか？

**A.** 小さな種が流れてしまったり、小苗が倒れてしまったりするのを防ぐためです。また底面給水は、均一に水をあげることができるという利点もあります。水やりは土の乾燥具合を確認して行ってください。（★13,15ページを参照）

**Q.** なかなか芽が出てこないのですが、どうしたら良いですか？

**A.** 花の種類で異なりますが、種まきから芽が出てくるまでに通常3~14日ほどかかります。芽が出てこないことの原因としては温度不足が考えられます。もっと暖かい場所に置いて様子を見てみましょう。（★14ページを参照）

**Q.** 間引きをするタイミングがわかりません。

**A.** 苗が大きくなってしまおうと、根が伸びて抜きにくくなるのでなるべく早めに間引きしてください。目安としては、本葉が2組（およそ4枚）くらいになったら間引くといいでしょう。（★16ページを参照）

**Q.** 摘心をする位置がよくわかりません。

**A.** 摘心の位置がわかりにくい時は、先端のすぐ下の、少し大きくなった葉ごと切ってしまうてもかまいません。なお、ヒマワリなどの1つしか花をつけない種類は摘心してはいけませんので注意しましょう。（★17ページ参照）

**Q.** 花がら摘みをするタイミングがわかりません。

**A.** 花が終わったり、枯れたりした時はもちろんですが、花が傷んだときに早めに行くと次の花が早く咲いてくれます。かわいそうかもしれませんが、早めの花がら摘みが、花を長く楽しめる秘訣ですので、こまめに花を観察してあげましょう。（★26ページ参照）

**Q.** 歩道の植樹ますに花を植えようと思うのですが、どんな種類が良いでしょうか？

**A.** 乾燥に強く丈夫なものを選びましょう。マリーゴールド、サルビア、ペチュニア、キンギョソウ、スイートアリッサム、ペゴニアなどがおすすめです。園芸書なども参考に自分好みの花を選びましょう。（★6,28,32ページ参照）

**Q.** ほかの質問をしたいのですが、どこにすれば良いですか？

**A.** 園芸に関するさまざまなご相談については、専門知識を持ち、経験豊かな「緑の相談員」がお受けしています。ご相談は直接お越しになるか、お電話でお願いします。  
豊平公園緑のセンター 電話：811-9370（月曜日を除く毎日）※  
百合が原緑のセンター 電話：772-3511（毎週木・日曜日）  
平岡樹芸センター 電話：883-2891  
（4/29~11/3の毎週水・土曜日）  
（相談時間はいずれも午前10時~午後4時。年末年始はお休みです。）  
※月曜日が祝日の場合は、翌日がお休みになります。

# スケジュール用紙の使い方

花づくりの内容を記録しておくこと次の年の参考になります。スケジュール用紙に作業内容を書き込んでおきましょう。次ページの用紙に直接書き込んでもかまいませんが、たくさんの種類の花を育てる場合は、1種類につき1枚のスケジュール用紙、といった具合に用紙をコピーして使用しましょう。

花の名前を記入しましょう

花の名前	マリーゴールド
------	---------

## ～花の観察日記～

種まき		発芽・生育	
種購入	〇〇園芸店でマリーゴールドとペチュニアの種を購入	芽が出た日	天気：晴れ マリーゴールドの種が発芽しはじめた
5月2日		5月16日	
種まきの日	天気：晴れ 〇〇園芸店で購入したマリーゴールドの種をまく	間引き	
5月5日		月 日	
●		摘心	
月 日		月 日	

例えば...

- ・種まきの日
- ・発芽した日
- ・本葉展開日
- ・間引き日
- ・摘心した日
- ・花芽を摘んだ日
- ・土づくり日
- ・植えつけ日
- ・追肥した日
- ・やり戻した日
- ・種とり用に花がら摘みをやめた日
- ・種とりの日
- ・後片付け日

...といったような花づくりで必要な作業項目を記入していきましょう

開花		種とり		花が終わった後の管理	
植え付け		種取りの日		後片付け	根ごと取り除いた
月 日		月 日		月 日	
開花の日	天気：くもり 一つ目の花が咲きはじめた 他のつぼみもそろそろ咲きそう				
月 日		月 日		月 日	
やり戻し					
月 日		月 日		月 日	

次の年の作業の目安（参考）になるのでどんな作業をしたのか記録しておきましょう

花の  
名前

--

# ～花の観察日記～

種まき

発芽・生育

種まき		発芽・生育	
<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日	
<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日	
<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日	

開花

種とり

花が終わった後の管理

開花		種とり		花が終わった後の管理	
<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日	
<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日	
<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日	